

第6節 具体的施策および重要業績評価指標（KPI）

基本目標1 若者や子育て世代の希望がかなうまち

（1）出会い・結婚・出産・子育てに配慮する環境の形成と交流機会の創出

若者や子育て世代が、出会い、結婚、出産から子育ての各ライフステージにおいて希望をもって暮らしていくことができるように、その世代の価値観を尊重するとともに、働き方の見直しや交流機会、学習機会の創出、定住しやすい環境をつくるなど、個人では解決できない課題を地域社会全体で改善に取り組むことにより安心して活動できるまちづくりを推進します。

【具体的施策】

①働き方の見直しによる余暇時間の創出支援

働き方の多様化やグローバル化など社会の動きに応じた労働環境の充実を支援することにより、働く人の置かれた事情に応じて柔軟な働き方を選択できる社会を目指します。そのために、市内産業の担い手である企業・事業者等の生産性の向上や経営環境・労働環境の充実を支援することにより長時間労働の是正を促進し、従業員の余暇時間の創出への取り組みを支援します。

《具体的取り組みや事業》

- 市内経済団体、市内企業・事業者、市関係課による連絡会の開催
- ワーク・ライフ・バランスの周知

②多様な交流機会創出の支援

多様性への理解促進のための講座開催など関係機関との連携により出会いの機会創出を兼ねた取り組みを支援します。交流の場づくりとして各種施設の積極的活用、国際交流の推進、芸能交流・経済交流機会の充実に取り組みます。また、商工会や青年会議所などの各種団体と連携した異業種交流、研修会やセミナーなどの開催、まちづくりとの連携、異業種連携などさまざまな場面での連携強化を図ります。

《具体的取り組みや事業》

- 市関係課、各種団体による連絡会の開催
- 各種団体と連携した異業種交流、研修会やセミナーの開催
- 市民活動支援センターを軸とした交流促進



交流の場ともなる市民ワークショップ

③教育機関と連携した学習機会の拡充

市民一人ひとりがそれぞれの興味や関心、ライフスタイルに応じた学習に取り組み、生き生きとした豊かな人生を送ることができるよう支援するとともに、ICTを活用した取り組みなど中学・高校・大学や教育機関との連携も促進し、学んだ成果が市民同士の交流やまちづくりにいかせる「学び」と「活動」の循環型生涯学習の環境をつくります。

《具体的取り組みや事業》

- 青少年センターでの児童生徒むけ講座の開催
- 子どもたちの自主活動への支援
- ICTを活用した取り組み
- 地域学校協働活動の推進
- 生涯学習支援センターによる市民講座の開催
- 生涯学習フェスティバルの開催
- 市民活動支援センター運営事業
- 包括連携協定等を活用した各教育機関との連携事業



糸満市生涯学習フェスティバル

④高校生、大学生、若者の地元定着の促進

本市の人口動態の特徴として、若い世代の転出超過が挙げられます。地方からの人口流出、少子高齢化対策として、地域の若者たちが持続可能な社会の創り手となるよう、学校、家庭、地域および関係機関との連携を推進しながら、次の世代へ糸満市のよさや地域アイデンティティを継承するとともに、自らが糸満市をかたちづくる担い手のひとりであるという意識の醸成に取り組みます。また、地域活動の担い手の確保と産業の担い手の確保の取り組みとして県外へ進学・就職した若者のUターンを促進するなど、若者の地元定着に取り組みます。

《具体的取り組みや事業》

- 市関係課、各種団体による連絡会の開催（再掲）
- 市民活動支援センター等と連携した地域活動・市民活動の支援
- 市民活動支援センターの機能強化
- 地域と学校の協働

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30年度)	目標値 (R7年度)
若手経営者研修回数（累計）〔回〕	2	10
生涯学習支援センター等における活動者数〔人〕	21,972	24,000

(2) 妊娠・出産・子育てに関する支援

子どもの最善の利益が実現される社会を目指し、良質かつ適切な支援に取り組み、全ての子どもが夢と希望を持って健やかに成長できる環境づくりに努めます。

妊娠・出産・子育て期に即して最適なサービスを切れ目なく提供できる総合的な支援体制を整えるとともに、経済的な負担軽減を図り、子育て家庭が地域で安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。

家庭と地域がともに教育力を高めることができるよう、企業・事業者、家庭、学校、地域、行政が一体となって子育てしやすい環境を整備するとともに、さまざまな課題を有する子育て家庭に必要な支援が行き届く体制を構築します。

【具体的施策】

①妊娠・出産・子育てに関する相談・支援体制の充実と経済的な負担軽減

妊娠・出産・子育て期を通して子育て家庭が地域で安心して子育てできるよう、包括的なサービスの提供、子育て中の親の孤独感・不安感の解消にむけた交流促進・相談体制を強化するとともに、妊産婦健診やこども医療費などの経済的な負担の軽減に取り組みます。また、家庭教育に関する情報発信・情報交換の場の提供、家庭における基本的生活習慣の形成、ブックスタートの推進などの家庭教育支援に取り組み、地域で子どもを育む環境づくりに取り組みます。

《具体的取り組みや事業》

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ●特定不妊治療費助成事業 | ●妊産婦健康診査事業 |
| ●未熟児養育医療費給付事業 | ●保育に係る出前講座の開催 |
| ●子育て包括支援事業（子育て世代包括支援センター） | |
| ●こども医療費助成の拡充 | ●こんにちは赤ちゃん事業 |
| ●親子健康支援事業 | ●養育支援訪問事業 |
| ●ブックスタート事業 | ●地域子育て支援事業 |
| ●多子世帯の保育料軽減 | ●子育てゆんたく会、夢実現親の学びあい事業 |

②多様な受け皿の確保

幼児・児童に関わる人材の確保・育成を推進するとともに、安心して子育てしやすい環境づくりや施設的环境整備に取り組みます。多様な受け皿の確保・充実を図るため、児童館等の子どもの居場所づくりや、保育施設の整備・改修を支援します。また、子育て支援にかかる人材の確保・育成、保育の質の向上、関係機関との連携強化を図ります。

《具体的取り組みや事業》

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ●放課後児童クラブ事業 | ●児童センター管理運営事業 |
| ●地域子育て支援事業 | ●ファミリーサポートセンター運営事業 |
| ●すこやか館管理運営事業 | ●一時預かり事業 |
| ●施設型・地域型保育給付事業（こども園運営事業） | |

③子育てと仕事の両立支援

子育て家庭が安心して子育てと仕事に取り組める社会の実現を目指します。ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場づくりを促進し、子育て支援におけるパートナー（夫）の参加と育児休業取得推進のための市民への啓発活動など、労働・生活環境の充実支援に取り組みます。

《具体的取り組みや事業》

- 商工会、観光協会、市内企業・事業所、市関係課等による連絡会の開催
- ワーク・ライフ・バランスの周知（再掲）
- 育休取得推進のための周知活動
- 地域子育て支援事業（再掲）



男性もともに子育て（お父さんむけの子育て講習）

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30 年度)	目標値 (R7 年度)
「子育てに不安が殆どない」と答えた人の割合（乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健診時アンケート） [%]	56.5 (※R元年度)	60.0
教育・保育施設待機児童数 [人]	25	0

（３）生きる力と郷土愛を育み、学習機会の多様性を実現する教育環境の整備

近年、少子高齢化の進行、グローバル化や情報通信等の技術革新などが急速に進み、教育を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑・多様化しており、学校と地域社会との連携の重要性が指摘されています。「地域とともにある学校づくり」への転換を図り、学校・家庭・地域がさらに連携を強化することで、児童生徒がよりよい社会や人生を切り拓いていく「生きる力」を育み、自己の将来を見通した持続可能な社会の創り手となるように教育環境の整備・充実を推進します。

また、子どもの貧困対策や児童虐待防止などのきめ細やかな支援を行うことにより、地域全体で子育て家庭を見守り育てる環境づくりに取り組みます。

【具体的施策】

①地域と連携した郷土愛の醸成および時代の変化に対応した学力の向上

児童生徒が持続可能な社会の創り手となるよう学校、地域および関係機関との連携を推進します。また、児童生徒に「学びの基礎」の定着を図るため、着実な教育課程の実施を推進し、教育環境の整備に取り組みます。さらに、新たな社会に対応するための生きる力の育成に取り組みます。Society5.0（※1）にむけた人材育成や関係機関との連携によるキャリア教育支援、コミュニティ・スクールの推進および地域学校協働活動による学校を核とした地域づくりを推進し、地域との交流や地域人材・資源をいかした学校運営に取り組みます。

（※1） Society5.0...AI・ICT などを活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立させた新たな社会のこと。狩猟、農耕、工業、情報社会に続く、第５段階とされる。

《具体的取り組みや事業》

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置
- キャリア教育支援
- 地域学校協働活動の推進（再掲）
- 放課後子ども教室推進事業
- 学校 ICT 化の推進
- 地域学力向上支援事業
- 小中一貫教育の推進
- 幼児教育の推進
- 教員の負担軽減策による教育の質の向上
- ESD（持続可能な開発のための教育）の推進



わった一学校(コミュニティ・スクール)の案内

②貧困の連鎖を断ち切るための学習支援等の充実

核家族化や地域のつながりの希薄化など子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、孤立感や子育てへの不安・負担感を持つ保護者、さまざまな課題を抱える子どもたちが増加する傾向にあります。子どもの最善の利益が実現される社会を目指し、全ての子どもが健やかに成長するよう、良質かつ適切な支援に取り組み、さまざまな課題を有する子育て家庭に必要な支援が行き届く体制を構築します。地域主体の子どもの居場所づくりによる食事の提供・学習支援・キャリア形成支援、困窮世帯の保育・就学援助、青少年センターにおける教育相談、子どもへの貧困連鎖の防止にむけた就学援助などの体制充実を図りながら、要保護児童や要支援児童へのきめ細やかな取り組みを推進します。



糸満がじゅまる児童センター／糸満市青少年センター

《具体的取り組みや事業》

- 生活困窮世帯学習等支援事業
- 子どもの未来支援事業（地域主体の子どもの居場所づくりによる食事の提供、子どもの学習支援、キャリア形成支援）
- 関係機関（要保護児童対策地域協議会など）のネットワーク構築
- 青少年センターにおける教育相談
- 子どもへの貧困連鎖の防止にむけた就学援助
- 子育て包括支援事業（子育て世代包括支援センター）（再掲）
- 子ども家庭総合支援拠点事業

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30年度)	目標値 (R7年度)
「全国学力・学習状況調査」における平均正答率（中学校）（※1）	C	B
地域学校協働活動推進員の人数 [人]	4	16

（※1）全国平均との比較... A：全国平均以上／B：マイナス5ポイント以内／C：マイナス5ポイント超